



在京古高同窓会会報
第57号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局

☎・FAX (042) 494-1598
URL: <http://在京古高同窓会.com>
Email: skyoji@jcom.home.ne.jp

発行責任: 大友 文博
編集長: 亀井 明
印刷: (株) ケーヨー

総会へおいでください

会長 鹿野 軍勝



皆様、その後如何お過ごしでしょうか。桜の季節も終わり、今年も恒例の総会・懇親会（6月25日）の時期を迎えることとなりました。前にも述べたかも知れませんが、「総会」と言うと何か堅苦しい感じを受けるかも知れませんが、実態を言えば「懇親・親睦の場」ですので、どうぞお気軽においでください。

本年は、大沼直紀先生に講演をお願いしております。大沼先生は、聴覚障害学の第一人者として、筑波技術大学の学長、東京大学先端科学技術研究センターの客員教授など幅広い分野で活躍しておられる我が古川高等学校の同窓生でございます。さっと面白いお話が聴けるものと楽しみにしております。総会ではまた役員の選任をお諮りしますが、若手の方々（と言っても相対的にということですが）に同窓会を一緒に支えて頂きたく、笠

間邦彦さん（昭45卒）と亀井明さん（昭55年卒）をそれぞれ副会長に選任頂きたいと思っております。更には、9月の第2週に「ふるさと探訪ツアー」（白石城・鳴子温泉など）を計画中ですが、この時期にふるさとにお出かけになる予定の方をふくめ、出来るだけ多くの方々の参加を得て楽しい懇親・親睦の機会にしたいと願っております。

さて、今こうして総会の事などを記しておりますが、今年は何やら年の初めから色々な出来事があること、落ち着きの無い気持ちで心の中に残っています。身近では、熊本地震で多くの命が奪われ、今なお沢山の方々地震の恐怖に怯えながら厳しい避難生活を余儀なくされています。

1月のブリュッセルでのテロ事件は、悲しく痛ましい出来事でした。何故テロを防げなかったのでしょうか。そして、どうしてこんな蛮行に走る人間を生み育ててしまったのでしょうか。隣の北朝鮮は、核実験やミサイル発射など物騒な挑発を続けていますが、米国の気を引こうとしているのでしょうか。中国は、尖閣諸島周辺はもちろぬ、南シナ海で活発な活動が続いています。既成事実を積み重ね、軍事力を誇示すれば、他の国は黙ると思っているのでしょうか。

在京同窓会メモ

- ・会計年度は4月～翌3月、年会費は2,000円です。振り込み用紙が同封された方は会費納入をお願いします。
- ・会の健全運営のため、賛助金のご協力をお願いします。
- ・次代会報第58号は2017年1月1日発行予定、原稿は常時受付。

中東地域では過激派組織「イスラム国」が猛威を振るっていますし、欧州への中東・アフリカからの難民の流れは続いています。

5月には伊勢志摩サミットが開かれますが、願わくは、テロなどの事件・事故が起きることなく、国際政治上の課題や世界経済の回復に向けた取り組みの上で、何かしらの成果が生まれることを期待したい気持ちでおります。其れでは皆様、6月の総会でおめにかかります。お身体をお大切に。

ご挨拶

古川高等学校長 浅野 悟



在京古高同窓会の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて3月1日の卒業式には、鹿野会長より東京宝雪賞を2名の卒業生に授与していただきました。今年の卒業生は、ソフトボール部、吹奏楽部が全国大会に出場するなど活躍しましたが、大学受験でも現役での国公立大学合格者が97名

となり、新設高校充足以来最高の数字となりました。まさに文武両道を実践した卒業生でした。

過去には国公立大学合格者が100名を超える年が何回もありましたが、それは過卒生を含めた数字です。一昔前は、浪人生の合格者数の方が多かった時代もありましたが、最近では現役生中心になってきました。また、本校生の特徴は推薦・AO入試ではなく、一般試験での合格者が多いことです。推薦・AO入試が悪いと言うことでは当然ありませんが、他校の傾向としては、初めから推薦・AO入試狙いで、小論文等の練習に重点化した受験生も多くいます。本校生は、一般入試を念頭に置いて勉強し、条件に合って推薦・AO入試という例が多いようです。質実剛健の気風かと思えます。

ただ気になる点の一つあります。これは本校に限ったことではないのですが、地元志向が年々強くなっていることです。国公立大合格者の約7割は東北地方の大学です。首都圏（東京・埼玉・千葉・神奈川）は1割ほどです。地元志向が悪いわけではなく、ご家庭の事情や、本人の意向もあると思います。しかし、広い視野で検討した結果が地元であれば問題はないのですが、他の選択肢を初めから除いての地元志向では寂しい限りです。首都圏で活躍されている在京同窓会先輩諸氏のご経験を伝えていただければ幸いです。話が長くなりましたが、在京古高同窓会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げます。

お知らせ

平成28年度 在京古高同窓会定時総会・懇親会

【日 時】平成28年6月25日（土）
11:30～15:00

【会 場】上野精養軒（右図参照）
JR上野駅公園口から徒歩5分 電話（3821-2181）

【会 費】8,000円

【講 演】大沼 直紀氏（元筑波技術大学学長）
演題：「あなたの耳は大丈夫？聴力の衰えとその対策」
誰の耳も衰える、難聴の予兆は、治せる難聴は、最新の補聴器は、聞き取りやすい話し方など



【講演講師】
大沼 直紀氏
プロフィール
元筑波技術大学学長
元東京大学大学院先端科学技術
研究センター客員教授

1960年 古川高等学校卒業（鳴子町出身）
1965年 東北大学教育学部卒業
1980年 ワシントン大学医学部附属中央聾研究所留学
2003年 筑波技術大学学長
2009年 東京大学大学院先端科学技術研究センター客員教授



本部同窓会事務局だより
近況について

古川高校同窓会
会長 渡邊 義之



東日本大震災からの復興がまだまだ不十分な状況の中、今度は九州熊本の大震災が発生するなど、日本列島は天変地異の様を呈しておりますが、在京同窓生の皆様お元気で過ごしてでしょうか。いつもながら、本校同窓会へのお力添えに感謝を申し上げます。

さて、本部同窓会の動向ですが、昨年の8月の総会は、自治医大の力山敏樹教授(高33)の素晴らしい講演を頂き盛況でした。

今年の総会は本県の環境生活部長として県政を担い大活躍中の佐野好昭氏(高28)に依頼し、本県の震災からの復興の状態や課題などを講演していただく予定にしておりますので、是非ご臨席賜りますようご案内申し上げます。

次に12月の役員会では、次の同窓会会長を担って頂く為に、副会長として、東北大学医学部教授で、東北大学研究推進本部URASENター長(高23回生)に就任していただき、スムーズにバトンタッチが

できるようにいたしました。また2月末の同窓会入会式では従来のやり方を変更し、新同窓生との対話集会の型式をとり、若い彼等彼女等の同窓会への要望や感想を聞き、これからの同窓会の有様の参考にしたと思います。

これからの若い後輩が参加できる会にして行くつもりであります。終わりに、母校は来年初立120周年の式典を予定しております。同窓生としても学校と十分に連携をとり、全面的に支援して参りますので、在京の皆様にも多くのご協力、ご支援をお願い申し上げます。近況報告とさせて頂きます。(昭34年卒)

近況報告

事務局長 遠藤 直樹



桜前線が過ぎ去り、新緑が待ち遠しいこの頃、古高在京同窓会の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

古川高校も3月に239名の卒業生を送り出し、240名の新入生を迎え、新たなスタートを切りました。本部事務局も前事務局長工藤昭裕先生が定年退職でご勇退され心細く思っておりますが、富田俊郎先生(高39回生)が赴任し、本年度も6名体制で事務局を運営していくことになりました。今年度も在京同窓会をはじめ、多くの同窓生のお力添え、ご協力を

よろしくお願いいたします。4月12日に燦々会の20名の方が毎年恒例の桜を見る会で本校にお越しいただきました。

本校には以前燦々会の方々から寄贈していただいた神代曙という品種の桜が植樹されていますが、晴天の青空を背に神代曙を觀賞された後にアコーデオンの伴奏に合わせ校歌と囀南歌を合唱されました。学制改革で古高に6年通った燦々会の方々、母校への強い思いを感じられ、同窓会担当をしてる者としてとても嬉しい1日でした。

3月に卒業した生徒の進路状況を報告します。国公立大学には97名が合格し、過去最高の合格者数となりました。

また早稲田・慶応をはじめとする難関私立大学にも多くの合格者を出すことができました。国公立大は目標としていた100名には届きませんでしたが大いに力を発揮し、成果を上げてくれた学年でした。詳細は別表進路一覧をご参照下さい。

今年の築高定期戦は4月28日に本校を会場に開催されました。生憎の強い雨で、野球と綱引きが中止となり、10種目での対戦となりましたが、7勝3敗で古高の勝利となりました。(通算成績39勝16敗3分)昨年大敗した築館高校の前評判が高く、今年は接戦になるとの予想でしたが、空けてみれば古高の圧勝という形で幕を閉じました。

1年生は恒例の辛い応援練習を経ての定期戦でしたが、終了後の全校生徒の前での応援団幹部や生徒会執行部からのねぎらいの言葉で古川高校に入学して良かったと思えたのではないのでしょうか。

今年古川高校創立120年を迎えます。来年11月に予定される120周年記念式典に向けての準備も本格的に始まります。

また、同窓生の方々にご案内させていただいた創立120年の同窓会名簿が6月下旬から7月上旬に発刊の予定になっております。今年同窓会関係の様々な情報も学校HPにある同窓会のバナーから発信したいと考えておりますので、よろしければアクセスしていただきたいと思います。

最後に本年度の本部同窓会総会が8月6日(土)の大崎市古川の「芙蓉閣」で開催いたします。昨年は総勢150名の参加を頂き、ここ数年にないほどの盛会となりました。

今年宮城県庁佐野様の講演を予定しております。今年の総会も昨年以上の盛会になりますようお近くの同級生、同窓生をお誘い合わせの上ご参加くださいようお願いいたします。併せて当番監事は高21・高27・高32・高37・高42・高47回生となりますのでご協力をお願い申し上げます。(昭61年卒)



応援風景

「ふるさと探訪ツアー 2016」のご案内

—宮城県南の風土と文化を訪ねて—

今年NHK大河ドラマ「真田丸」真田幸村(信繁)ゆかりの宮城県南の白石城界隈を探訪し、復元した有備館や岩出山の政宗公まつりとふるさと各地の歴史探訪を楽しみます。

・日時：平成28年9月9日(金)～10日(土)(1泊2日)

・コース探訪概略：県南白石城・史跡と鳴子・岩出山界隈

1日目：古高訪問→白石城と当信寺ほか史跡→鳴子界隈宿泊

2日目：鳴子峡→有備館(再興)→政宗公まつり→JR古川駅

・参加費(見込み)：¥22,000円(バス代、宿泊費、見学料昼食代ほか)、

懇親会参加のみ：¥8,000、

1日コース(宿泊)：¥19,000(JR古川駅迄の乗車券を除く)

・申し込み先：在京古高同窓会事務局(佐々木恭次)

Tel/Fax：042-494-1598 e-mail: skyoji@jcom.home.ne.jp

*古高同窓生以外の本探訪に興味ある方、知り合いや友人参加も歓迎します。

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー



Business Integration Partners

BIP株式会社

昭和42年卒

代表取締役 佐々木 昭美

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F

TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418

東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F

TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp URL: http://www.bi-p.co.jp

第23回 旧古川市内四校新年の集い

「新年の集い」を

振り返って

昭41年卒 菊地 務

今年の幹事校は工業さんで、参加人数は四校合わせて210名余の同窓生が集まり、上野精養軒で楽しい時間を過ごしました。

第一部総会の部では、前年までは各校の校長先生の挨拶と来賓者の挨拶でしたが、今回はそれぞれの在京同窓会の会長の挨拶も加わった為に時間の調整が難しく、案の定50分間の講演の部が半分に削られるシナリオになってしまいました。

次回には時間の配分を事前に当事者に知らせる事が大事かと思いましたが。

伊藤大崎市長からは、今年行事予定として7月31日NHKのど自慢大会(田尻総合体育館)、8月18日白鵬の大相撲おさき場所、9月25日テレビ東京開運なんでも鑑定団開催、11月3日大崎市合併10周年式典と盛り沢山の行事予定と活気あるお話を聞きまし



講演者原口氏

当校も含めて徐々に減りつつある参加者を確保、新参加者を増やす方法は、若い人に役員などの重責を担う立場になってもらい、若い世代の人達に声掛けをしてもらう方法が一番かと思えますが如何ですか? (幹事)

した。

講演会は原口証氏「認知症予防の方法」と言う、昨今のテレビ放映や雑誌で話題のテーマで、参加者皆さんの心に「考えるキツカケ」を作ってくれたのではないでしょうか!

インターネットで検索し、認知症予防の方法を勉強されたり、当校ホームページにも掲載されておりますので、少しでも認知症にならない為の知恵を付けて、楽しい余生を送られればと思っております。

第二部の懇親会では、それぞれの丸テーブルで2時間以上の立食にも拘らず、懇親を深めながらブ口顔負けの歌やダンスで会場が盛り上がり、無事に今年のスタートを切る事が出来ました。懇親会後は各校それぞれが二次会へと消えてゆきました。

また、四校新年会の新しい参加者を増やす方法は、そろそろ黎明高が主催校として名乗りを上げてくれれば、きっと数十人は増えるような気がしますが、如何ですか?



賑わい



市長を囲んで



校長を囲んで



踊り



和気あいあい



今川氏を囲んで

＜ 第23回四校合同新年会 古高出席者名簿 ＞

- 〔四校来賓〕 (敬称略) 伊藤 康志 (大崎市長) 佐々木欽三 (首都圏大崎連絡協議会会長) 伊藤 長市 (東京古川会会長) 白幡 成典 (おおさき移住支援センター S55卒 田尻出身) 松ヶ根航太 (同 H19卒 田尻出身) 鈴木 健 (みやぎ大崎観光公社)
〔古高来賓〕 (敬称略) 浅野 悟 (学校長 白石出身) 相澤 信 (同窓会副会長 S35卒 古川出身) 菊地 文義 (同窓会副会長 S41卒 古川出身) 鈴木 忠司 (在仙同窓会会長 S49卒 中新田出身) 遠藤 直樹 (同窓会事務局長 S61卒 田尻出身)

〔会員89名〕 (カッコ内は出身地)

Table listing 89 members with their names and graduation years in columns.

会員による自由投稿

葉山城と枝城

昭29年卒 湯本 良師

葉山城は南北朝時代の遺跡で、陸奥の大将であった石塔（いしどう）義房が築城したものである。

北朝方であった石塔氏は、南朝方の攻勢を防ぐため、街道の要所であった鳴子町に築いた。当時の城は、少人数で防御できる山城が主で、要害の地にあった。城をイメージする天守・石垣はない。土塁、屋敷跡だけである。鳴子町史を中心に城址を記した。

1. 本城・葉山城

石塔義房が、宗家である足利尊氏に陸奥の大将に任じられた建武二年（西暦1335年）頃に、町内末沢（すえざわ）の三条山に築城した。三条山中腹の三条平と、頂上近くに土塁・城郭であった所に羽山権現が祀つてある。

葉山の城名は、出羽修験の聖地出羽三山の一つ湯殿山に由来していると推察する。葉山は再生を意味しており、南朝方の中核として活躍した北畠顯信（あきのぶ）（北畠親房（ちかふさ）の次男）の出羽から南下に配慮してのことと思われる。

2. 葉山城の枝城

(1) 小室館（たて）（町内赤湯地区鷲の巣の尾根の階段状の地にあ

る山館。羽前街道の高台にあり、湯山（かたやま）の間道見張る。(2) 大西館（町内大口馬場、高場山（たかばやま）神社）

石塔義房の家臣馬場豊後（ぶんご）の居館。羽前街道警備の役割を果たす平館（ひらやかた）。

(3) 山際（やまぎわ）館（たて）（町内名生（みやう）定（さだ）山際（やまぎわ）の居館。

登米街道（至栗原市）や羽前街道を見渡せる峰に館があった。屋敷跡と館跡の境に土塁が残っている。

文和年間（西暦1352（55年）に斯波家兼（後大崎）に滅ぼされ、家兼の家臣湯山宗（そう）節（せつ）に与えられた。

(4) 萩野館（町内名生定滝（たき）岸（ぎし））

西を南北に流れる荒尾川、東西に流れる沢目（ざわめ）木川にあり、要害の地にある平館、年間居住できる居館であった。館跡には土塁がある。斯波家に移ってから湯山氏の居館となった。

3. 葉山城を築いた石塔氏

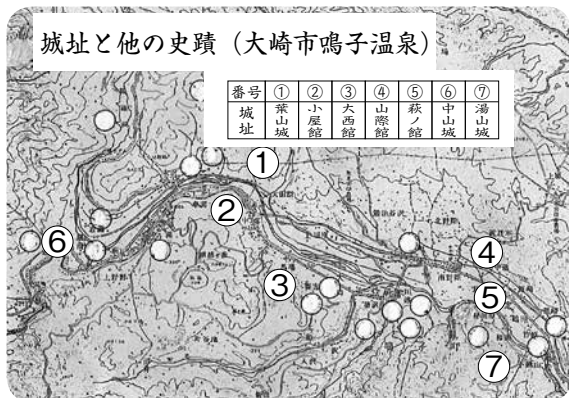
葉山城の石塔義房・石塔頼房（義房の三男）の親子は、東国で南朝方と転戦し、功績をあげた。南朝方の拠点であった常陸国（茨城）の小田城、大宝（だいほう）城、関城を降した。しかし義房は足利尊氏と確執があった。

尊氏が陸奥鎮将として吉良貞家を重用したため不満を抱き、やがて観心の擾乱（じょうらん）（西暦1349～52）（尊氏と弟直義との内部紛争）で、足利直義が

南朝方に味方したことにより、義房は南朝方になり手柄を立てている。尊氏にとって義房の権力の増大に危機感を持ったのであろう。北朝方が南朝方に鞍替えしたことは、当時の武将の方向転換は一族維持繁栄の視点からなされている。後、石塔親子は北朝方大崎氏に滅ぼされた。

書き足りない点を挙げると幾つかあった。出土品（経文石、仏像、弘法大師像）から世相、武士の思いや願いはどうだったか。

地名（馬場・的場・関口）から兵力の増強警護の様子を探る必要がある。



「南米・太平洋岸からアンデスを越えアマゾン川源流までの冒険旅行」(第2回)

昭42年卒 相澤 篤

さて、第2回目は、走り、歩き、

登る活動を支え、体調・体力を維持した『食』の話題とします。

海、山、川、そして、熱帯、砂漠、高地、寒帯に類する多様な気候・風土をたどったルートでは、独特の食を堪能することが期待されました。

旅は、太平洋岸の町、チンボテからスタートしました。しかし、ここでは、海産物の食を堪能する程の時間的な余裕はありませんでした。太平洋の食材については、すべての活動を終了して、首都のリマへ戻ってから、つかの間は、前回の旅と同じでしたが、既に、メニューは脳裏にありましたので、楽しみを持って自転車を進めました。

ペルーは、旅行業界のアカデミー賞とされる「World Travel Awards」の「世界最優秀グルメ観光地賞」を連続して受賞している国です。海産物は豊富で、日本をはるかに上回る世界有数の漁獲量・生産量を誇りますので、新鮮で美味な料理を多く味わえます。勿論、今回も日本人観光客に人気の魚介類をふんだんに使用し、マリネ、たたき風、もしくはそのまま生で食べる Ceviche も食しました。美味しいです。

でも、一つご注意を、レストランで出される料理の盛りですが、女性にとつては大きなボリュームの場合が多いと思います。例えば、友人と一緒にいくとなれば、二人で分け合うような注文の仕方が良いかと思えます。兎に角、Estoy satisfecha」との言葉を越える満腹感を覚えるかと思えます。ペルーは、世界に存在する32気

候のうち28種類（？）をも有している国です。今回、コスタ（海岸部）、シエラ（アンデス山岳部）、セルバ（アマゾン地帯）という3つの異なる自然環境の地域を走り抜けましたが、何と言っても「腹が減っては戦が出来ず」ですので、食事が一番の楽しみだったかもしれません。

ペルーは海産物、農作物のパラエティーに富む食材を確保出来る国です。アンデスの山をたどれば、標高4000mを越えても、どの山肌も果てしない牧場のようなもので、牛、羊、豚、鶏等々の家畜、アマゾンの川には名も知らない淡水魚や氷河湖を覗くとマスがいまます。人間は、何でも、食材にします。写真は、アンデスの4800m程の峠を越えて辿り着いたアマゾン川支流の Yanama という集落（町？）の民家の庭で草を食べていたモルモットです。



可愛い動物です。実は、私のサラリーマン時代は製薬会社勤務で、その前半は研究員としてモルモットも扱っていました（後半は、人間対象の「治験」関連の仕

事で、独立した現在も続けています。実験動物の供養塔に手を合わせて罪滅ぼしする立場ですが、モコモコした写真の主人公は食材です。「とても食えないよ」と言いつつ、実は、旅の後半に町へ降りてから食べてしまいました。「クイ／Guy (Chactato)」という料理に変身します。美味しいです。「人って、何でも食べてしまうもんですね〜」などと、他人事のように言ってしまう私です。やっぱり、人って、ご都合主義ですね。「モルモットさん、ありがとうね」と手を合わせました。

旅先では、氷河の恵を人々が楽しんでる光景にも出会いました。アマゾン川上流の支流の町、Chacasでは、写真のように氷河から切り出した氷にシロップをかけて女の子たちが美味しそうに頬張っていました。



ところで、ジャガイモ、トマト、カボチャ、トウモロコシ、ピーナツなど、世界で常食としていたる食物の20%がペルー原産といわれて

います。ジャガイモは、大変多くの種類がありますが、18世紀の飢饉によるドイツの人々の窮地を救った作物です。

また、様々な料理で多用されているトウガラシもペルー原産です。今回は、紙面の関係で割愛しますが、珍しくて、美味しい作物、果物にも出会いました。今、欧米や日本で、健康食品として人気上昇中の作物、NASAが宇宙食に採用した「キヌア (Quinoa)」は、主に標高2500m以上の高地で栽培されています。これもアデス原産です。タンパク質に富み、鉄分、カルシウム、植物繊維、ビタミン類が豊富で、栄養のバランスに優れた完全食品としてインディオの人たちに食べ継がれてきた作物です。

紙面も少なくなりましたので、町のレストランでは食べるのが出来ない料理を紹介させていたいただきます。アデスの伝統料理パチャマンカ (Pachamanca / 大地の鍋) です。大地にあけた穴に焼石を入れ、その上に数種類のジャガイモ、そらめめ、肉などの食材を置き、草木や土で蓋をし、蒸し上げる料理です。インカ時代から受け継がれた大地を鍋にした伝統料理です。氷雪の6000m峰に登った後の打ち上げとして、料理の過程を屋外で見物しながら食することができた時はラッキーでした。現地で世話をしてくださった井上さん、そして、旅に終始付き合ってくれたアグリピノさんとアデスの大空の下で心のこもった食を味わいました。

では、最終回となる次の第3回目をご期待ください。

学びは一生

昭45年卒 岩瀬 昭典
河北TBCカルチャーセンター代表取締役



40年間勤めた河北新報社を退職し、関連会社のカルチャーセンターで経営・企画を担当するようになってから早くも一年余りが経ちました。

河北新報グループの会社担当はこれで2社目。出版を主な事業とする河北新報総合サービス会社当時は、東京の同窓会場でスポーツ雑誌や郷土関連書籍の紹介をさせていただきました。改めて皆さんのご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、現在勤めるカルチャーセンターはJR仙台駅ビルの5階に本部教室、仙台市宮城野区榴岡の旧郵政関連ビルに支部教室を構成し、合わせて370講座を運営しています。

授業が始まる午前10時には、聞き覚えのあるチャイムが『キンコンカンコン』と構内に響き渡ります。受講生は仙台市内はもろろんのこと、石巻などの宮城県沿岸部、大崎、栗原、登米、白石、角田や隣県からもJRやバスを乗り継いで駆け付けます。

たまに、教室をのぞかせてもらうと、居眠りするような受講生は一人として見かけません。教室には、飲食物の持ち込みを禁止していることもあって、早弁も当然ありません。

と。とにかく教室中に学ぼうとする熱意がみなぎっているのです。

人気の講座は『文学と教養』『絵と書』『暮らしと健康』の3つのジャンル。源氏物語や平家物語、方丈記などを題材として取り上げた古典文学の各講座は、どこも定員いっぱい、年間を通して当カルチャーの稼ぎ頭になっています。

洋画教室の休憩時間ともなると、元気な声がロビー中に響きます。古高OBで、母校や古川女、岩出山の各高校で物理の教壇に立ったW先輩の寛ぎタイムです。

絵の具が付いた前掛け姿のW先輩は、聴けば八十歳を過ぎておられるとのこと。生活にリズムを付けようと、油絵講座に長く通っておられ、「仙台の古高同窓会にも顔を出しなさい」と、私をよく誘ってください。

また、洋画講師の先生たちはいずれも、母校の『名物画伯』。穴戸先生のことを知っておられ、懐かしそうに穴戸先生とのエピソードを語ってください。

そういえば、こんなこともありました。出産で講座をお休みする絵の先生が挨拶にきた時のことです。苗字が珍しいので出身地を尋ねたら、なんと古高時代の同級生の姪御さんでした。『仙台は狭い』と思うと同時に、大崎地域の人材の層の厚さを実感した次第です。

カルチャー活動は生涯学習の一環ですが、さまざまな文化の紹介と定着も使命の一つです。幸いにも活動に携わることができた私は、故郷・大崎の人材の厚さに助けられながら、これからも人々の交流を豊かに演出していきたいと思っています。



代表取締役 **岩瀬 昭典** (昭和45年 高24回卒)

河北TBCカルチャーセンター エスパル教室 (Tel: 022-266-2272)
〒980-0021 仙台市青葉区中央1-1-1 仙台ターミナルビル5F

河北TBCカルチャーセンター メルパルク教室 (Tel: 022-792-8123)
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-6-51 メルパルク SENDAI 3F
<http://www.culture-ktc.co.jp>

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援
おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格

CALS/ECインストラクター	10名
電子化ファイリング	2名
文書情報管理士 1級	1名
文書情報管理士 2級	3名

代表取締役会長 **早坂 清吉** (昭和29年卒)

平成27年度 年会費・賛助金納入状況一覧 (平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

同窓会活動の財源としての年会費並びに賛助金を、皆さまにご協力いただきありがとうございました。
納入された方々のご芳名を記して、お礼に替えさせていただきます。

	氏	名
昭16	福島 光男	
昭17	笹原 猛	
昭18	加藤 茂	
昭19	青沼 康男	
昭20	安倍善次郎 青沼 瑞夫 高橋 昭典 日野 次朗	
昭22	大曾根良衛 大場 孝夫 諸岡 久男 結城 雅巳 門馬 秀夫	
昭23	半田 慶男	
昭24	我孫子静夫 門脇 健 小林 昭 齋藤 馨 齋藤 弘 早坂 揆男 三浦 澄能	
昭25	岸 勝也 工藤英三郎	
昭26	相澤 清記 生亀 弘 鈴木 桂吾 鈴木 俊男 角田 啓輔 谷地 森 税	
昭27	天野 仁二 石川 久夫 氏家 明朗 大内 史彦 太田 徹 佐澤 正剛 佐藤 清勝 菅井 一 菅原 峯雄	
昭28	瀬川 博義 中森 高 春田 紘輔 本田 惇	
昭29	小元 広悦 中川 裕雄 早坂 明久	
昭29	相沢 善徳 岩淵 瑞穂 大沼 悟 近江 誠一 金原 章郎 金村 繁 菊地 務 佐藤 郁郎 佐藤 興市	
昭29	佐藤 茂 佐藤 廣 関 信良 関口 克己 高橋 清亮 高橋 滄 長浦 稠 早坂 清吉 福富 啓祐	
昭29	八尋 恭平 湯本 良師	
昭30	相原 相 浅野 和夫 尾崎 光彦 門脇喜代志 門脇 敏明 岸 孝仙 岸 康男 木村 哲彌 京極 恒由	
昭30	小松 伍郎 佐々木英三 佐々木 豊 佐藤 輝久 鈴木 貞清 諏訪 政志 瀬戸 順悦 曾根 研一 高橋 廣	
昭30	都築 侖 塚田 容三 手島 篤郎 中澤 丙吾 二階堂幸男 平野 武 三塚 正志 山中 廣志 横山 武	
昭30	和田 勝義 渡辺 吉郎	
昭31	阿部 進 相澤 昭男 浅野 平男 浅野 森男 安住 栄喜男 生亀 功 石川 勝夫 大石 隆一 奥村 信良	
昭31	木村 智明 熊谷 正俊 佐々木 寛 田中 稔夫 福原 克彦 松谷 嘉男 森 茂樹 森谷 文彦	
昭32	遠藤 康光 大久保 通 大森 英樹 木戸 秀彦 北村 武行 佐々木勝也 佐藤 満行 下屋 勝 竹谷 靖夫	
昭32	野田 利美 沼倉 和雄 門間 俊二 渡辺 光夫	
昭33	大友 正行 大山 隆志 小堺 勉 今野 聡 佐々木光一路 佐藤 厚 菅原 富男 鈴木 節夫 鈴木 将夫	
昭33	高橋 俊裕 成田 良元 野村 高義 早坂 英郎 福原 喬夫 三浦 義明 森谷 拓夫 山口龍之助 結城 陸夫	
昭33	渡邊 紘也	
昭34	青沼 行雄 出雲 義朗 後藤 孝 宍戸 志智 宮野 貞司 村上 金吾	
昭35	阿部 信雄 石田 靖夫 伊藤 勝利 宇佐美 潔 梅沢 和男 遠藤 文雄 大澤 邦敏 大沼 直紀 黒岩 弘一	
昭35	今野 正弘 佐々木恭二 佐々木武磨 佐々木庸二 鈴木 啓次 中鉢 育玄 我妻 一美	
昭36	江崎 肇 大曾根秀憲 大益 弘 鹿野 軍勝 菅野 俊次 児玉 隆行 佐藤 宗博 菅泉 徹 木村 正宏	
昭36	熊谷 伸一 齊藤 武夫 鈴木 幹 高橋 幸裕 藤本 義明 枡澤 敬 松崎 仁也 吉田 二郎 我妻幾久寿	
昭37	阿部 孝 渋谷 孝 杉野 邦熙 田口 正志 千坂 孝夫 相澤 利重 本田美喜夫 佐藤 八一郎	
昭38	阿部 重人 大曾根 昇 菅野 英俊 木村 康之 佐々木恭次 佐藤 勝昭 菅原 清春 高橋 忠世 遊佐 義男	
昭38	渡辺 将郎 大場 和男 宮本 信夫 飯塚 洋	
昭39	石堂 達夫 上野 正司 菊地 忠信 菊地 義信 後藤 雍正 笹原 誠一 澁谷 榮男 菅原 静 千葉 則道	
昭39	細野 利行 前沢 義隆 吉田 雄	
昭40	浅野 仁也	
昭41	狩野 民生 菊地 務 今野 忠雄 佐々木宗實 高橋 秀之 藤吉 和史 八木 正志 渡邊 幸之	
昭42	伊藤 倉雄 大友 文博 木村 智則 酒井 信一 佐々木昭美 佐々木敬悦 佐々木正雄 佐藤 勉 澁谷 誠一	
昭42	大黒 恒光 三浦 和夫 森谷 里美 門田 芳司	
昭43	遠藤 卓三 佐々木 博 門間 勝	
昭44	相沢 次雄 青沼 文昭 鈴木 信正 角田 耕一	
昭45	荒川 忠一 猪股 謙二 岩瀬 昭典 鬼沢 慎一 小畑 伸一 角張 信隆 菅野 文敏 佐々木 質 佐藤 実	
昭45	只野 祐 千葉 芳郎 馬場 博 藤井 茂樹 茂庭 進	
昭46	今川 和彦 遠藤 孝 笠間 邦彦 加藤 伸 鈴木 規仁 鈴木 博 森谷 隆	
昭47	相澤 司 内海 卓 高橋 光 松木 秀一	
昭48	伊藤 健二 石川 克城 貝 修二 加藤 敏朗 桜井 俊一 細川 金男	
昭49	早坂 正	
昭50	早坂 明彦 岡崎 裕哉	
昭51	菅原 博之 早坂 時男 細川 源治 道家 篤夫	
昭53	浅野 正則 遠藤 淳	
昭54	村井 勇二	
昭55	亀井 明	
昭61	渡邊 博之	
昭62	相澤 政宏	
平01	小嶋 浩二	
平11	菊地 宏幸	

**年会費・賛助金の
ご協力をお願い**

昨年度の収支は、皆様
方の年会費・賛助金のご
協力支援の元に改善がな
されましたが、改善に今
一步の段階です。
年会費納入者は記載の
とおり290名と前年比
11名減っております。
物故者及び転居先不明
などが関係しております。
引き続き同窓会活動にご
支援賜りたく、年会費並
びに賛助金のご協力を切
にお願いたします。
在京同窓会事務局

会員通信

●年齢のせいか、物忘れするようになりまし。 (S16 福島光男)
 ●元気が少年野球チームの監督をやつております。これからは雪をよろしくお願いします。 (S22 諸岡久男)
 ●故郷を離れて、同級生や親戚もすっかりうすくなりまし。 (S23 大金昭夫)

●当方、老々介護ながら、気持ちはずいずです。妻の盲導犬が引退し、外出の機会が思うにまかせず。当日(新年会)も所用で失礼します。ご盛會と諸兄のご健祥を祈ります。 (S24 三浦澄能)

●自宅近くを歩いて体力維持に努めております。 (S25 荒井 隆)
 ●東京会々報の送付ありがたく愛読しております。同期・中島正二君、体調不良のため休養中です。残念の極みです。 (S27 加美町 伊藤祐造)

●健康維持のための通院(投薬)は定期的にやっておりますが、そのためか元気が毎日を過しております。週2回の水泳教室、1回の脳トレ(パソコン)教室等に通ったりと相変らずの毎日です。 (S27 氏家明朗)

●藤沢稲間会の「新春の集い」と重なり、今回は残念ながら(新年会)を欠席させて頂きます。 (S27 中森 高)
 ●私、80歳になりましたが、妻と共に無事におります。 (S29 小野賢次)

●いつも会報を送っていただきありがとうございます。子供達との剣道、周辺の山歩きで体を調え、診療も続けながら傘寿の道を歩いています。 (S29 笠原歯科医院 近江誠二)

●毎日、水戸から日立まで常磐自動車道を運転して通っています。 (S29 日新記念病院 金原章郎)

●C o p 21「温室効果ガスの濃度安定化」に伴う火力発電の超高温化が望まれています。(年寄りの冷水??) (S29 菊地 務)

●当マンションの第2回大規模修繕工事の顧問を引受けました。(平成16年マンション管理士資格取得) (S29 関口克己)

●屋号・道標(町内全体)を調査記録。南北朝時代の鴨子町の歴史調査(城関係のみ)。健康のため尺八(古典新曲)を継続。 (S29 湯本良師)

●写真つけの生活をすべてに優先して続けています。この新年会の日も、朝日新聞本社でのモノクロ写真の研究会

●午後あります。世話人なので出席します。新年会は残念ですが途中退席させていただきます。 (S30 塚田要三)

●同窓会等で一番困る事は、出身地を尋ねられる事です。戦時中、小学3年生になる強制的に疎開させられた最後の世代です。生れは横浜で、小学校だけで横浜、旧鳴瀬村(鳴瀬小)、旧三本木(三本木小)、旧岩出山町(岩出山小)と、住みに恵まれず転校を繰り返した悲しい思い出です。やはり、神奈川に戻りました。 (S30 山中廣志)

●卓球、囲碁、家庭菜園が私の退職後の第二の人生です。 (S30 横山 武)

●元気に暮しております。同じ地域で学んだ仲間との1年に1回の再会を楽しみにしております。後輩達の活躍の報告を聞くのも一つの楽しみです。 (S31 相澤昭男)

●広く浅くよりも、狭く深くを感じる様になりました。本音かな? (S31 浅野森男)

●何かと元気にやっております。 (S32 大森英樹)

●後期高齢者の現在、東京と四国松山を行ったり来たり生活をして居り、27年12月下旬から28年2月頃まで四国に居ります。 (S32 早坂貞雄)

●民謡会の総会、新年会、総務の為議事進行担当の職務に参加不可。27年度日立市の民謡コンクールで「宮城追分」を唄い、優勝しました。 (S33 小堺 勉)

●意気に感ずるままに、四方八方手当たり次第動いています。 (S33 山口龍之介)

●日常の生活は元気で過しております。近くの医院は毎日通院し、市立の病院には数ヶ月に1度位、2つの病院に検査の為通院しております。 (S34 村上金吾)

●年相応に不具合はありますが、国家資格取得を目指し、チャレンジの毎日です。 (S35 阿部信雄)

●動けるうちに、昨年、沖繩旅行息子の赴任先のアトラクタ・USAへ出かけ、孫達と楽しみ、秋は白馬・長野の紅葉、古川の実家と鴨子・山形と、家内と旅を楽しんでいます。今年、元赴任していたタイのバンコック、マレーシアのクアラルンプールを旅する予定です。 (S35 我妻一美)

●第56号会報で、古高野球部内野手を知りました。都筑偉大先輩のご逝去を知り、私、小学5・6年頃、古高の試合観戦後、市内の銭湯に追っかけをして、こちらから一方的に話しかけたことや、真黒に日焼けした先輩の笑顔が今でも浮んできます。心よりご冥福をお祈りいたします。先輩の愛した野球を私が続けます。 (S36 江崎 肇)

●病気がかりの1年でした。町内会を始め、地元のコラスの役員すべてを止め、ゆっくり過ごし、夏・冬の同窓会の出席は出来るだけ出席するように体調を管理します。 (S36 菅野俊次)

●世知辛い世の中、色々あるからこそ人生。意見が違うからこそ学ぶ。命の大切。自然の大切。進む、止まる、後退する。最近、高齢者講習の通知あり。前進あるのみ。高年齢な小鳥たちが、さえずりあつては色々な小鳥たちひととき。 (S36 佐藤宗博)

●現役で働いています。マラソン・菊造り・登山の趣味です。北アルプス、殆んど登りました。登山に興味のある方は是非御一報下さい。 (S37 西村青果 徳谷 孝)

●公立学校の勤務を定年退職し、私立学校で10年お世話になっております。古希の別世界のことと思っておりますが、自分になったという自覚がありません。 (S39 愛国学園講師 菊地忠信)

●蜜雪を楽しみに読ませていただき、古高を思い出します。 (S39 高橋勝雄)

●つくば市にあるJATAAF先端技術研究所で元気に働いています。日曜日の午前中と水曜日の夜はバドミントン、月・金曜日の昼休みは卓球をして汗を流しています。 (S41 高橋秀之)

●第2の人生として、前勤務先の協力事業者に再就職し、11月9日より勤めております。(経理担当)また、TGCG東京OB合唱団の一員として、老人ホームの慰問等、社会貢献に励んでおります。 (S42 榎日電管管理部 佐々木正雄)

●お世話になります。この度は蜜雪56号に、私の仕事に關しまして掲載頂きました。恐縮に存じます。 (S42 榎日代表 澁谷誠一)

●昨年、お蔭様で創塾30周年を迎えました。子供の頃、日本中は貧しかったけど、人々は落ち着いていて、もつとゆとりが有ったかと殊更に想う昨今です。塾塾空手道は、今年も平和の尊みとを訴え続け、邁進したいと念じて止みません。 (S42 倉本幸道 齋藤森谷 森谷里美)

●昨年4月から町内会の会長を務めていました。1月中は行事が多く、今回は(新年会を)欠席しますが、6月の古高総会には出席します。昨年7月古川において42年卒のメンバー135名が集まり、楽しく再会を喜びました。 (S42 門田芳司)

●66歳になりました。お蔭様で元気にやっております。 (S43 佐々木博)

●親の介護をしております。同窓会の情報が新鮮で楽しみです。 (S44 相澤次雄)

●年末に風邪を引き、予想の外長引きました。体力の衰え感じます。 (S44 角田耕一)

●月1度ほど上京しています。仙台駅・エスパル5階で業務を続けております。地域に役立つ文化活動をご紹介します。 (S45 河北TBCカルチャーセンター 岩瀬昭典)

●暇な年金ぐらし。手習いに、放送大学を視聴しています。パソコンに録画し、わからない所はインターネットで調べるモグリの学生です。便利な時代になったと感じています。 (S46 遠藤 孝)

●昭和48年卒近くの方が出席されているのであれば、(新年会に)出席したいと思っております。 (S48 榎キユーブシステム 加藤敏朗)

- 心よりご冥福をお祈りいたします
- 今野 榮喜氏 (昭和16年卒 在京同窓会顧問)
 - 高橋 三郎氏 (昭和16年卒)
 - 大曾根良衛氏 (昭和22年卒)
 - 大澤 邦敏氏 (昭和35年卒)
 - 藤吉 和史氏 (昭和41年卒)

熊本、大分の大地震では大変な被害が発生している。震度5以上が頻繁に起きており、これまでにない激しさである。一方、岩出山では、震災で倒壊した有備館が5年の歳月を経て、復旧工事がようやく完成し、観光資源として復活した。熊本、大分の被災者の方々にはお見舞い申し上げるとともに、早期の復旧を祈っております。(大友)

編集後記

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 鈴木 博 (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階 (虎ノ門合同事務所)

TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493
E-mail : hiro0917@toranomom-ssta.com

MOTOR SPORTS OIL

FORTEC

エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。

FORTEC モータースポーツオイル発売元

耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一 (昭和42年卒)

フォルテック株式会社

〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台 4-5-23
TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687

<http://www.fortec-oil.com/>

